大阪市立

成育（せいいく）小学校

郵便番号	536−0007
所在地	城東区成育1丁目5−19
電話番号	(06)6932−0061
FAX	(06)6932−6360
校長名	井上 修

【 概 要 】 校区は11町会（成育1～5丁目、関目1丁目の一部、中央2丁目、3丁目の一部）で構成されている。近年他地域からの転入が多く、令和7年度は児童数803名、31クラス（うち特別支援学級は7クラス）である。

【教育目標等】 校訓・育てたい子ども像「考える子　協力する子　強い子」
学校教育目標　「正しく判断し、自他のよさを認めあい、最後までやりぬく子どもを育てる」

【 沿 革 等 】 昭和24年に榎並小学校南分校として落成し、翌年成育小学校と改称された。校名を決めるにあたり3つの候補が挙げられ、その中から保護者が選んだ学校名が「成育」であった。

運営に関する計画《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和3年度の調査より増加させる。
- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和3年度末より減少させる。
- 令和7年度末の児童や保護者によるアンケートにおいて、あいさつについての設問での肯定的な回答を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和3年度より増加させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和3年度より向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を令和3年度より上昇させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTの活用に関する目標を設定する。学習者用端末を活用した学習を行う時間を令和3年度末より増加させる。
- 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。令和7年度に年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を令和3年度より増加させる。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

	国語	算数
本校平均正答率	71%	69%

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

国語科と算数科の両教科とも、平均正答率が大阪市平均及び全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率も、両教科ともに大阪市平均及び全国平均より大幅に低くなっており、回答に対する意欲がうかがえる。

［国語］正答率50%以下は全体の18.1%で、大阪市平均27.3%、全国平均24.6%と比べ、低く抑えられている。「C読むこと」の平均正答率は、大阪市平均より4.1%、全国平均より3.5%上回っている。しかし、「A話すこと・聞くこと」の平均正答率は、大阪市平均より4.1%上回っているが、全国平均より0.4%下回っている。

［算数］正答率50%以下は全体の29.9%で、大阪市平均33.7%、全国平均32.5%と比べ、低く抑えられている。「A数と計算」「B図形」の平均正答率は、共に70%を超えており、基礎・基本の学力が定着しているといえる。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.1	19.8	32.0	36.5	44.2	9.39	153.5	18.6	50.3
女子	14.5	17.6	35.8	33.4	29.9	9.93	142.0	10.6	49.4

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

児童の「走力・持久力」向上を目指し、昨年度に続き、体育科の学習でラダーによる準備運動やタグ取り鬼ごっこ、冬にはリズム縄跳びや蒲生グラウンド全面を使った鬼ごっこなど、各学年の実態に応じて実施した。

しかし、男女ともに全国平均と比べると記録は悪くなっている。その一つの要因として、校舎改築工事のため、運動場が狭くなり、体を動かす機会が激減したことが考えられる。そこで、狭い場所でもできる運動や一人でも体力の向上が図れる取り組み、講堂使用の配当の見直し等、運動をする時間や場所の確保をしていく。

学校のアピールポイントなど

● 「わかった」の声が響く楽しい学校
すべての子どもが、考える楽しさ、わかる喜び、満足感を味わえる学習指導に取り組んでいます。

目の前の新しい課題に対して、自分が今まで身につけてきた知識や技能を上手に利用し、自ら壁を乗り越え、解決していくという問題解決型の学習方法を進めています。

● 学校教育活動で具体的な観察・体験を大切にします。

抽象的な概念をそのまま受け入れるのではなく、自ら観察し体験することで初めて実感をもって理解できるようになります。また、その繰り返しの中で、物事の本質をつかむ力も養われます。

● 自ら挑戦する体験を大切にします。

自分の得意なことでさらに高い目標を定めて達成したり、逆に得意でないことにも積極的に取り組み、少しずつでもできるようになったりする体験を大切にします。例えば、その子どもにとって得意で楽しい活動で得た自信をそれ以外の活動に広げていくことが大切です。その積み重ねが、どんなに難しいことでも、自分にはやり遂げることができるという自負と強い気力を生み出します。

● 言葉の力を養います。

読書に親しむことや、自分の考えを他の人が理解できるように言葉で表現する学習等を通じて、あらゆる思考の基礎となる読む力と書く力、さらに他の人との協働を可能にする聴く力と話す力を養います。

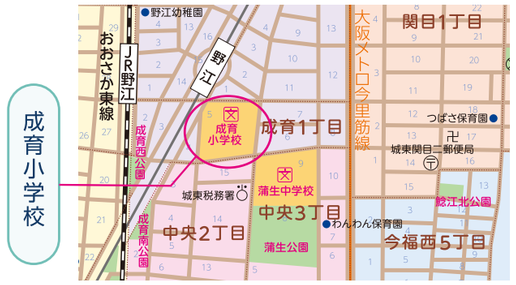
【 学校HPより 】

成育小子ども見守りレモン隊の方々が、登下校の時間に合わせて、児童の見守りをしてくださっています。

運動会の様子。校舎改築により、蒲生グラウンドで実施しています。

修学旅行では、志摩スペイン村に行きます。

5年生の宿泊行事は琵琶湖へ行きます。カッター漕艇やいかだ作り等、湖上活動を行います。

学校案内図

（18ページもあわせてご覧ください）